

令和2年度

# 通常総会議案

～安心して楽しく暮らせる

まちづくりを目指して～

日時：令和2年5月10日（日）

午後2時～

会場：秋田市広面 COM内「事務所」



NPO法人

住まい安心サポート秋田

# NPO法人 住まい安心サポート秋田

## 令和2年度 通常総会 次第

### 1. 開 会

### 2. 総会成立宣言

### 3. 理事長あいさつ

### 4・議長選出

(定款第25条)

総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

### 5. 議事録署名人の選任

(定款第29条)

総会の議事については、議事録を作成しなければならない  
会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

### 6. 議 事

第1号議案 令和元年度事業報告について

第2号議案 令和元年度決算報告について  
(監 査 報 告)

第3号議案 令和2年度事業計画(案)について

第4号議案 令和2年度活動予算(案)について

### 7. 閉 会

# 第1号議案 令和元年度事業報告について

## 令和元年度事業報告

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

NPO法人 住まい安心サポート秋田

### 1 事業の成果

- (1) 正会員35(個人26、団体9)、賛助会員1(団体1)の加入のもと、組織基盤の強化が継続された。
- (2) 秋田市民公募による「住まい安心見守り隊」が目標を超え、58名会員の実績を得た。
- (3) 空き家利活用等に関する31件の各種相談を受けた。(累計136件)
- (4) 空き家対策セミナーを開催し、利活用と見守り事業の普及を図った。
- (5) NHK番組「ニュースこまち」「おはよう秋田」で活動が紹介された。
- (6) 秋田県主催等による各種行事に参画するとともに、他団体等との連携を図った。
- (7) 以下の事業を実施した。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:円)
① 居住者への住まい安心サポート事業	ア 居住者からの建物利活用・見守りから、介護、相続、税金などの相談を総合的に受付ける。 (相談は無料、内容により専門家によるサポート)  イ 居住者(施設入居者含む)と別居家族とのコミュニケーションを図るため、IT活用により、顔の見えるTV会話等のシステムを提案し導入を図る。	(A)随時実施 (B)本法人事務所 (C)役職員18名	(D)秋田市民 (E)相談件数 0件	0
		(A)随時実施 (B)画面で会話デモコーナーを常設 (C)役職員18名 協賛IT企業等	(D)秋田市民 (E)不特定多数	

<p>② 空き家所有者への建物管理、利活用サポート事業</p>	<p>ア 地域自治会等と連携し、住まい安心見守り隊による空き家の現況調査を実施する。</p> <p>イ ホームページ等を活用し、空き家所有者からの、建物利活用や、相続、税金等の相談受付を行うとともに、住まい安心見守り隊による空き家の建物見守りサービスを行う。 (相談は無料、内容により専門家によるサポート) (空き家見守りサービス業務は、見守り隊への実費弁償) (特別な工事等は専門業者を紹介)</p>	<p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名 (役職員18名含む)</p> <p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名 (役職員18名含む)</p>	<p>(D) 秋田市民 (E) 実施件数 0件</p> <p>(D) 相談は全国建物見守りサービスは秋田市内 (E) 相談件数 31件 (利活用含む)</p> <p>建物見守りサービス業務契約 4件</p>	<p>141,922</p>
<p>③ 空き地所有者への管理、利活用サポート事業</p>	<p>ア 空き地所有者からの、土地利活用や、相続、税金等の相談受付を行うとともに、住まい安心見守り隊による空き地の土地見守りサービスを行う。 (相談は無料、内容により専門家によるサポート) (空き地見守りサービス業務は、見守り隊への実費弁償) (特別な工事等は専門業者を紹介)</p>	<p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名 (役職員18名含む)</p>	<p>(D) 相談は全国土地見守りサービスは秋田市内 (E) 相談件数 0件</p>	<p>0</p>
<p>④ 空き家、公共遊休施設等の利活用サポート事業</p>	<p>ア IT関連サテライトオフィスを提案し、起業化や移住定住をサポートする。</p>	<p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 役職員18名 関連団体、企業等若干名</p>	<p>(D) 相談は全国空き家、施設は秋田市内 (E) 相談件数 0件</p>	<p>0</p>

	イ 空き家（古民家）等を活用し、自然体験や遊びを通じて秋田の田舎の良さを体験してもらうためのプランを提案する。	(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 役職員 18名 関係NPO等 若干名	(D) 全国 (E) 相談件数 0件	
	ウ 空き家等を活用し、地域のコミュニティーの場や、カルチャーの場としてのプランを提案する。	(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 役職員 18名 地域自治体等 若干名	(D) 秋田市内 (E) 提案件数 1件	
⑤その他この法人の目的を達成するために必要な事業	ア 会員や住まい安心見守り隊を対象に、知っておきたい「相続」の知識習得のための講習会を行う。 (一般市民も受講可)	(A) 5月12日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 役職員 18名	(D) 秋田市民 (E) 空き家対策 セミナー 40名	113, 101
	イ 会員や住まい安心見守り隊を対象に最近の相談事例から相互の情報交換会を開催する。	(A) 5月12日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 役職員 18名	(D) 秋田市民 (E) 見守り隊 連絡会議 40名	
	ウ 役員、事務局員を対象に秋田中央郵便局長を講師に研修会を開催する。	(A) 12月1日 (B) 秋田市 「パソコン専門店 COM会議室」 (C) 役職員 18名	(D) 役職員 (E) 13名	
	※以下、各種協賛事業等の実施			
	エ 地域協働ネットワーク会議「秋田・ひと・もの・こと・いいところ発見会議」へ出席	(A) 9月18日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 理事長 1名	(D) 秋田市民 (E) 10名	

	<p>オ 秋田県主催 「空き家対策市町村担当者 会議」へ出席</p> <p>カ 地域協働ネットワーク会議 「秋田・ひと・もの・こと・ いいとこ発見会議」へ 出席</p> <p>キ 秋田のいいとこ自慢こ フォーラム パネル展示と活動紹介</p> <p>ク 「秋田市内地域包括支援 センター管理者会議」で 活動紹介</p> <p>(中止した事業) ・「地域協働ネットワーク 会議」 テーマ「センターを超えて 新しい協働を考える」(遊学 舎)(秋田県委託事業) 令和2年3月9日開催予定</p> <p>・「市民活動フェスタ2020」 (アルヴェ) 活動紹介パネルと相談ブー スの設置と相談ブースの設 置(秋田市主催) 令和2年3月22日開催予定</p> <p>※以下、会議等の実施</p> <p>ア 平成31年度監査会</p>	<p>(A) 11月13日 (B) 秋田市「パークホ テル」 (C) 役職員5名</p> <p>(A) 1月8日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 理事長1名</p> <p>(A) 2月11日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 役員・会員7名</p> <p>(A) 3月19日 (B) 秋田市「秋田市老 人福祉センター」 (C) 役員2名</p> <p>(A) 4月24日 (B) 秋田市 「伊藤洋子司法書 士事務所」 (C) 役員4名</p>	<p>(D) 全各市町村 担当者 (E) 80名</p> <p>(D) 秋田市民 (E) 10名</p> <p>(D) 秋田市民他 (E) 40件</p> <p>(D) 市町センタ ー管理者 (E) 15名</p>	
--	--	--	---	--

	イ 令和元年度第1回理事会	(A) 5月12日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 理事8名		
	ウ 令和元年度通常総会	(A) 5月12日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 会員36名		
	エ 令和元年度第2回理事会	(A) 6月1日 (B) 秋田市「遊学舎」 (C) 理事13名		
	オ 令和元年度第3回理事会	(A) 12月1日 (B) 秋田市 「パソコン専門店 COM会議室」 (C) 理事10名		

(合計255,023円)

(2) その他の事業実施なし

第2号議案 令和元年度決算報告について

**令和元年度活動計算書**

平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費		327,000	
会費(理事)	45,000		
会費(団体)	260,000		
会費(個人)	22,000		
賛助会員受取会費	0		
2. 受取助成金等		0	
事業収益			
3. 事業収益		48,000	
事業収益	48,000		
4. その他収益		5	
受取利息	5		
雑収益			
経常収益計			375,005
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費		255,023	
(1) 人件費	0		
(2) その他経費			
会議費	30,248		
諸謝金	15,000		
通信運搬費	57,802		
支払手数料	47,551		
賃借料	2,460		
広告宣伝費	45,896		
消耗品費	56,066		
2. 管理費		32,364	
(1) 人件費	0		
(2) その他経費			
通信運搬費	14,457		
支払手数料	3,888		
消耗品費	14,019		
経常費用計			287,387
当期正味財産増減額			87,618
前期繰越正味財産額			576,842
次期繰越正味財産額			664,460

※「消耗品費」「通信運搬費」の中の共通経費については、事業費・管理費へ各々80%・20%の按分とする。

# 貸借対照表

令和2年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	664,460		
流動資産合計		664,460	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			664,460
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		576,842	
当期正味財産増減額		87,618	
正味財産合計			664,460
負債及び正味財産合計			664,460

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却します。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却します。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	事業①	事業②	事業⑤	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費				0	327,000	327,000
2. 受取助成金等				0	0	0
3. 事業収益		48,000	0	48,000	0	48,000
4. その他収益				0	5	5
<b>経常収益計</b>	0	48,000	0	48,000	327,005	375,005
<b>II 経常費用</b>						
(1) 人件費						
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
会議費		0	30,248	30,248	0	30,248
諸謝金		0	15,000	15,000	0	15,000
通信運搬費		48,475	9,327	57,802	14,457	72,259
支払手数料		47,551	0	47,551	3,888	51,439
賃借料		0	2,460	2,460	0	2,460
広告宣伝費		45,896	0	45,896	0	45,896
消耗品費		0	56,066	56,066	14,019	70,085
<b>その他経費計</b>	0	141,922	113,101	255,023	32,364	287,387
<b>経常費用計</b>	0	141,922	113,101	255,023	32,364	287,387
<b>当期経常増減額</b>	0	△ 93,922	△ 113,101	△ 207,023	294,641	87,618

事業①:居住者への住まい安心サポート事業

事業②:空き家所有者への建物管理、利活用サポート事業

事業⑤:その他この法人の目的を達成するために必要な事業



# 監査報告書

「NPO法人 住まい安心サポート秋田」令和元年度業務及び財産全般について、事業報告、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する関係書類に基づき監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。

実施年月日 令和2年4月30日（木）

実施場所 伊藤洋子司法書士事務所

令和2年4月30日

監 事

監 事

NPO法人 住まい安心サポート秋田

理事長 佐々木 義文 様

## 第3号議案 令和2年度事業計画（案）について

### 令和2年度事業計画（案）

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

NPO法人 住まい安心サポート秋田

#### 1 事業実施の方針

- (1) ホームページの一層の充実と活用を図り、諸活動の普及と個別相談の拡充を図る。
- (2) 「住まい安心見守り隊」の地域情報により、現状把握に努め、課題解決を目指す。
- (3) 空き家見守りサービス事業の普及と拡充を図る。
- (4) 情報誌「防災ガイドブック」を発行する。
- (5) 行政や他団体等との連携を図り、より多様な事業活動を展開する。
- (6) 必要に応じて、各種助成金、補助金制度等の導入を図り、諸活動を加速化させる。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施予定日時 (B)当該事業の 実施予定場所 (C)従事者の 予定人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)予定人数	事業費の 予算額 (単位：円)
① 居住者への住 まい安心サポ ート事業	・居住者からの建物利活用、 管理から介護、相続、税金 などの相談を総合的に受付 ける。 (相談は無料、内容により 専門家によるサポート))	(A)随時実施 (B)本法人事務所 (C)役職員18名	(D)秋田市内 (E)相談件数 3件(目標)	0
	・居住者(施設入居者含む) と別居家族とのコミュニケ ーションを図るため、IT 活用により、顔の見えるT V会話等のシステムを提案 し導入を図る。	(A)随時実施 (B)希望する居住者 宅や、入所施設 (C)役職員18名と 協賛IT企業	(D)秋田市内 (原則) (E)1件(目標)	0

<p>② 空き家所有者への建物管理、利活用サポート事業</p>	<p>・地域自治会等と連携し、住まい安心見守り隊による空き家の見守りを実施する。</p> <p>・空き家所有者からの、建物利活用や、相続、税金等の相談受付を行うとともに、住まい安心見守り隊による空き家の建物見守りサービスを行う。 (相談は無料、内容により専門家によるサポート) (空き家見守りサービスは、見守り隊への実費弁償) (特別な工事等は専門業者を紹介)</p>	<p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名</p> <p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名</p>	<p>(D) 秋田市内 (E) 相談件数 30件 (目標) (利活用含む)</p> <p>(D) 相談は全国建物見守りサービス業務は秋田市内 (E) 20件 (目標)</p>	<p>156,800</p> <p>0</p>
<p>③ 空き地所有者への管理、利活用サポート事業</p>	<p>・空き地所有者からの、土地利活用や、相続、税金等の相談受付を行うとともに、住まい安心見守り隊による空き地の土地見守りサービスを行う。 (相談は無料、内容により専門家によるサポート) (空き地見守りサービスは、見守り隊への実費弁償) (特別な工事等は専門業者を紹介)</p>	<p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名</p>	<p>(D) 相談は全国土地見守りサービス業務は秋田市内 (E) 2件 (目標)</p>	<p>0</p>
<p>④ 空き家、公共遊休施設等の利活用サポート事業</p>	<p>・IT関連サテライトオフィスを提案し、起業化や移住定住をサポートする。</p> <p>・空き家（古民家）等を利用し、自然体験や遊びを通じて秋田の田舎の良さを体</p>	<p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 役職員18名 関連団体 企業等若干名</p> <p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 役職員18名</p>	<p>(D) 相談は全国空き家、施設は秋田市内 (E) 1件 (目標)</p> <p>(D) 全国 (E) 1件 (目標)</p>	<p>0</p> <p>0</p>

	<p>験してもらおうためのプランを提案する。</p> <p>・空き家等を利活用し、地域のコミュニティーの場や、カルチャーの場としてのプランを提案する。</p>	<p>関係NPO等 若干名</p> <p>(A) 随時実施 (B) 秋田市内 (C) 役職員18名 地域自治体等 若干名</p>	<p>(D) 秋田市内 (E) 1件(目標)</p>	<p>0</p>
⑤ その他この法人の目的を達成するために必要な事業	<p>・会員や住まい安心見守り隊を対象に、空き家等の利活用のための知識や技術習得のための講習会を行う。 (一般市民も受講可)</p>	<p>(A) 年2回 (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名</p>	<p>(D) 秋田市内 (E) 50名 一般市民や他のNPO等へも呼びかける</p>	<p>166,000</p>
	<p>・会員や住まい安心見守り隊の相互の情報交流のための連絡会議を開催する。</p>	<p>(A) 年2回 (講習会時) (B) 秋田市内 (C) 住まい安心見守り隊 58名</p>	<p>(D) 秋田市内 (E) 50名</p>	<p>0</p>
	<p>・空き家・空き店舗の利活用支援事業として「空き家見学ツアー」を開催する。</p>	<p>(A) 年1回 (B) 秋田市内 (C) 役職員18名</p>	<p>(D) 秋田市内 (E) 30名</p>	<p>0</p>
	<p>・本法人の県北、県南地区の活動拠点の拡充について研究、検討する。</p>	<p>(A) 理事会開催時 (B) 秋田市内 (C) 役職員18名</p>		<p>0</p>

(合計322,800円)

第4号議案 令和2年度活動予算(案)について

令和2年度活動予算(案)

令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費		327,000	
会費(役員)	45,000		
会費(団体)	260,000		
会費(個人)	22,000		
賛助会員受取会費	0		
2. 受取助成金等		0	
雑収益	0		
3. 事業収益		0	
事業収益	0		
4. その他収益		0	
受取利息	0		
雑収益	0		
経常収益計			327,000
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費		322,800	
(1) 人件費	0		
(2) その他経費			
広告宣伝費	80,000		
賃借料	30,000		
諸謝金	40,000		
消耗品費	96,000		
通信運搬費	76,800		
2. 管理費		43,200	
(1) 人件費	0		
(2) その他経費			
消耗品費	10,000		
支払手数料	20,000		
通信運搬費	13,200		
経常費用計			366,000
当期正味財産増減額			△ 39,000
前期繰越正味財産額			664,460
次期繰越正味財産額			625,460

※「消耗品費」「通信運搬費」の中の共通経費については、事業費・管理費へ各々80%・20%の按分とする。

**【役員・事務局員 名簿】** (令和元年. 6. 1～令和3年. 5. 31)

NPO法人 住まい安心サポート秋田

役職名	氏名	住所	報酬の有無
理事長	佐々木 義文	秋田市	無
副理事長	傳野 正一	秋田市	無
理事	伊藤 君男	秋田市	無
理事	岡部 正彦	秋田市	無
理事	加賀谷 芳春	秋田市	無
理事	加藤 慎也	秋田市	無
理事	鎌田 良勝	秋田市	無
理事	北林 正規	秋田市	無
理事	小林 武志	秋田市	無
理事	東海林 正博	秋田市	無
理事	今川 清宣	秋田市	無
理事	佐々木 茂	秋田市	無
理事	藤原 久美子	秋田市	無
監事	伊藤 洋子	秋田市	無
監事	藤原 富男	秋田市	無

事務局長	相場 清人	秋田市	無
事務局員	石井 栄美	秋田市	無
事務局員	渡辺 由孝	秋田市	無

(理事13名 監事2名 事務局員3名) 18名